

事務事業名		国際クリケット場整備事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				担当係	管理係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	15363	一般	10	5	2	国際クリケット場整備事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H27年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市国際クリケット場条例 佐野市国際クリケット場条例施行規則		事業区分	市単独事業・国県補助事業	市単独事業
								任意的事業・義務的事业	任意的事業	
								実施方法	直営	
								事業分類	施設維持管理事業(市以外が主体)	
								リーディングプロジェクト	該当	
								市長マニフェスト	3-14	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)					
スポーツ立市推進基本計画の基本事業「クリケットを活用したスポーツツーリズムの進行」を推進するため、田沼高校跡地グラウンドを利用したクリケット等球技場の整備を行う。 H27 練習用ピッチを造成 H28 タンデムローラー、テント購入。 南側フェンス撤去、一部樹木伐採。 地方創生拠点整備交付金申請 H29 交付金活用による整備(コート2面、観客席) 平成28年4月佐野市国際クリケット場条例施行により事業名を旧田沼高校クリケット等球技場設備整備事業から変更。		タンデムローラー、テントを8張購入。倉庫入口をシャッターに改修。 グラウンド南側のフェンスの撤去、一部樹木の伐採。 地方創生拠点整備交付金申請(現況測量等) H29緑越 実施設計、測量、南側伐採					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
整備した箇所		箇所			1	3	3

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

国際クリケット場(旧田沼高校運動場)		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		旧田沼高校運動場	m			25,000	25,000	50,000

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

クリケット競技の国際規模の大会が開催できるよう整備する。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		開催された国際大会試合数	回			1	1	1

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

良好な状態を維持する。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		スポーツ施設整備計画の達成度	%	-	-	0.0	35.0	40.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円			2,998	5,000	1,558			
	一般財源	千円			2,834	2,918	44,904			
	事業費計(A)	千円	0	0	5,832	7,918	46,462			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					工事請負費	5,832	需用費	163	工事請負費	4,500
						役務費	69	委託料	41,962	
						委託料	552			
						使用料及び賃借料	1,292			
				工事請負費	1,275					
				備品購入費	4,567					
人件費	正規職員従事人数	人			2			3		
	のべ業務時間	時間			200			200		
	人件費計(B)	千円	0	0	779	768	768			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	6,611	8,686	47,230			

事務事業名	国際クリケット場整備事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	--------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	スポーツ立市推進基本計画の施策体系に旧田沼高校跡地を活用したクリケットによるスポーツツーリズムを推進することが位置付けられている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年12月の「観光立国推進基本法」や、平成22年8月の「スポーツ立国戦略」の策定に端を発し、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどの開催もあって、スポーツを目的に誘客を図るスポーツツーリズムに関心を持つ自治体が増えており、事業誘致等での自治体間の競争は激しくなることが予想される。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	スポーツツーリズム推進基本計画のパブリックコメントにおいて、クリケットのまちとしてクリケットを普及すること、ツーリズムを進めることに肯定的な意見が多数寄せられる。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	整備費用の捻出にあたり、国の補助メニュー等の調査研究を行い、整備費用の軽減を行う。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	国際クリケット場で国際大会を開催できるクリケット場として整備することにより、本市のリーディングプロジェクト「スポーツ立市」に十分貢献できる事業である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	行政財産であり市がクリケット場として整備するものである。その際、現況を踏まえ国際基準に沿った球場整備を行うには、クリケット名門クラブMCCのアドバイスが必要であり、MCCと本市の友好関係を利用しマリルボーンクリケットクラブネットワーク事業と連動して推進するものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	国際クリケット場として活用するための整備であり、この対象及び意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案	市単独での整備では限界があるため、国の補助メニューに乗ることにより、整備費用の軽減が図れる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	費用の最低限の整備内容であり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	整備事業が完成した段階で、受益者負担の内容を変更する必要がある。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	スポーツツーリズム協会の運営が加盟団体を中心に運営できれば、この事業は休止もしくは廃止できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	受益者負担の適正化	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下	×		×	
			コスト																							
			削減	維持	増加																					
成果	向上			○																						
	維持			×																						
	低下	×		×																						
国庫補助等の導入。 整備後の利用料の検討。																										